平成24年上尾市教育委員会7月定例会 教育長報告1

所属名 教育総務部 総務課

件 名

教育委員会の事務に関する点検評価について

内 容 説 明

平成24年教育委員会4月定例会におきまして報告いたしました教育委員会の 事務に関する点検評価について、現在までの経過及び今後の予定並びに施策評価 シート及び事務事業評価シートの記載例を報告いたします。

記

1 現在までの経過及び今後の予定

4月20日	教育委員会4月定例会において、基本設計を報告
6月15日	事務事業評価原案を各課が作成
7月10日	提出された事務事業評価等を踏まえ、施策評価原案を各課が作成
7月20日	第1回調整会議において、課長職の意見交換
	この間、原案の各課調整
8 月 上 旬	第2回調整会議において、教育委員会提出原案を決定
8月22日	教育委員会8月定例会において、評価結果について協議(継続)
9月19日	教育委員会9月定例会において、評価結果の審査・採決
9 月 下 旬	第三者評価依頼
11月下旬	教育委員会11月定例会において、報告書の審査・採決
12月下旬	上尾市議会へ報告書の提出

2 施策評価シート及び事務事業評価シートの記載例

施策評価については、上尾市教育振興基本計画の7つの基本目標の下に体系付けられた全32施策について、評価を実施します。(シートの記載例は2ページ)

事務事業評価については、施策の展開に当たって主要事業として掲げられている全69事業について、評価を実施します。(シートの記載例は3ページ)

※記載例として掲げたシートの内容については、第1回調整会議に提出したもので、 今後調整されるものです。

添付資料	添付資料名
有 · 無	施策評価シート及び事務事業評価シートの記載例 (2┊ ・3 ┊)

◎施策評価シートの記載例

上尾市教育振興基本計画の体系								
	基本目標	基本目標I確かな学力と自立する力の育成						
I	施策	施策 1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施						

●主要事業の評価結果(各事業の評価結果詳細については、事務事業評価シートを参照)

	事業名	平成23年度			次年度以降の目標設定				
	尹未有	決算額 (千円)		判定	目標指標	票	23年度実績	2 4 年度	25年度
1	30人程度学級 「あげおっ子アッピープラン」事業	81,660	Α	継続	少人数学級教員	数	26人	_	_
2	学級支援員派遣事業	24,283	Α	継続	支援員配置率	!	48.2%	50.0%	55.0%
3	理科教育振興事業	158	Α	継続	上尾支部科学展	民出品数	144作品	155作品	155作品
4	教育に関する3つの達成目標 推進事業	5 1 0	Α	継続	規律ある態度 80%達成項目	数	99項目	108項目	108項目
					市学力調査	小学校	5 2. 4	50以上	50以上
5	魅力ある学校づくり事業	6.789	Α	継続	平均値	中学校	5 0. 7	5 0 MI	5 0 M.T.
5	応力の 句子校 J 、り事来	0,769	^	和全书记	教育に関する道 (週1時間以上 る児童生徒の害	上運動す	80.1%	85%	90%
6	学力向上支援事業	7.262	Α	継続	市学力調査	小学校	5 2. 4	E O III E	50以上
ľ	子 刀門工义 仮 尹未	7,202	~	和全市党	平均值	中学校	5 0. 7	50以上	3 U M T
7	小学校理科支援員配置事業	450	В	継続	理科支援員 配置校数		6校	4校	2 2 校

●成果指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	指標の説明
上尾市学力調査の国語・	小学校	52.5	52.2	52.4	全国平均を50としたとき
算数(数学)・英語の総合	中学校	50.9	51.0	50.7	の市の平均値

◎教育委員会の施策評価の結果

教育委員会の施策評価

児童生徒の「生きる力をはぐくむ」教育を一層推進し、児童生徒一人一人に、知・徳・体の基礎・基本の確実な定着を図るため、計画的な委嘱研究を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図り、学校の教育力を高めている。、「学力」「規律ある態度」「体力」の3領域における取組を推進している。幼稚園・保育所などから小学校、中学校へと学習環境の変化に伴う、児童生徒の不適応を解消するために、30人程度学級を実施し、落ち着いた学習環境の中で一人一人への「きめ細かい指導」が行うとともに、学級支援員を配置することにより、支援を必要とする児童生徒の個々の状況に合わせた教育を進めている。市学力調査結果から、明らかとなった児童生徒の学習状況の実態をもとに、学力向上プランを作成し、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、確かな学力の定着を図っている。さらに、、上尾支部科学教育振興展覧会の開催、小学校理科支援員を配置するなど、理数教育の充実を図り、市全体の教育水準の向上を図っている。

次年度以降の目標設定

目標指標		平成23年度実績	平成24年度目標	平成25年度目標
上尾市学力調査の国語・	小学校	52.4	50 以上	50 以上
算数(数学)・英語の総合	中学校	50.7	50 以上	50 以上

学識経験者の意見

◎事務事業評価シートの記載例

事業番号 5 魅力ある学校づくり事業

|担当| 指導課

上尾市教育振興基本計画の体系							
基本目標	基本目標 [確かな学力と自立する力の育成	基本目標 Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成	Ⅲ 安心・安全で質の高い学校教育の推進				
施策	施策1 創意工夫を生かした適切な教育指導の実施	施策7 児童生徒の体力向上	施策2 学校経営の改善・充実				

●事業の概要

事業の目的 事業の目標	各学校が教育課題の研究をとおし、教員の指導力の向上を図り、児童生徒・保護者・地域から信頼される 学校を築く。
事業の対象 対 象 数	上尾市立幼稚園・小・中学校
事業の内容	市立幼稚園及び小・中学校において教育課題の研究を推進する。各学校に対して、3年ごとのサイクルで、2年間の計画的な研究を委嘱している。各学校では創意工夫を生かした教育活動を展開することにより、魅力ある学校づくりを行う。また、上尾市教育研究会に対して、全体研修会や各部会の研究の補助金を交付し、教職員の資質の向上を図る。

●事業費決算額の推移

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
6,789 千円	6,789 千円	6,789 千円	6,789 千円	

●評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	指標の説明
委嘱研究発表校数		11 校	11 校	13 校	年間委嘱研究発表校
古学力調本並拉信	小学校	52.5	52.2	52.4	全国平均を50としたときの市の平均値
市学力調査平均値中学校		50.9	51.0	50.7	主国十均を50としたとさの市の十均値
教育に関する3つの達成目標 体力(運動習慣)		80.6 %	79.9 %	80.1 %	週 1 ~ 2 回以上は 1 時間以上運動する と回答した児童生徒の割合

◎教育委員会の評価の結果│

教育委員会の評価

児童生徒一人一人の学力向上は、学校の最重要課題であるとともに、市民ニーズでもある。市の 教育水準を高めるため、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、実践を重ね、指導方法の工夫改善な どの研究に取り組むことは、教職員の指導力の向上を図る有効な取組である。また、各学校では、 研究のまとめとして研究発表を行うことで、市内全校に研究成果を広め、市全体の教育力の向上 を図ることができる。市内教職員が組織し、主体的に研修・研究に取り組んでいる上尾市教育研 究会へ補助することで、指導力の向上を図ることができる。

改善点等本年度の特色

3年間を見通した研究を進めることは、本市の教職員の指導力の向上や、学校の教育力向上に資する有効な手段の一つであり、今後も継続して行っていく必要がある。また、市内各学校へ広く研究を発表することで、3年間の研究実績を全市的に共有化し、効率的・効果的に学校の教育水準の向上が期待できる。さらに、各学校では、他校の研究成果をもとに指導方法の工夫改善等を図り、特色ある取組・魅力ある学校づくりを一層推進することができる。市の教育水準の向上を図るため、委嘱研究発表校数、各学校への研究準備段階からの交付金支給額及び研究内容等による交付金の配分割合について検討し、さらに研究委嘱を充実・発展していく。発表会の分科会においては、小・中学校の教員による研究協議が行われ、小・中学校の連携を推進している。

次年度以降の目標設定

総合評価判定	方向性判定
Α	継続

目標指標	平成23年度実績	平成24年度	平成25年度	
市学力調査平均値	小学校	52.4	5 0 N L	
	中学校	50.7	50以上	50以上
教育に関する3つの達成目標 体力(週1時間以上運動する児童生徒の割合)		80.1%	8 5 %	90%